

山方南小学校

(野上1067 ☎57-3314)



○開校4年目

本校は、平成15年4月1日に山方町立山方南小学校として開校し、平成16年10月17日、町村合併により常陸大宮市立山方南小学校と校名を変更しました。学校の南側には、JR水郡線野上原駅があり、久慈川に沿って国道118号が整備され、交通の便に恵まれています。大洗子どもの城での宿泊学習や1泊2日で実施する東京方面への修学旅行などではJR水郡線を利用し、子どもたちの主体的な活動ができるよう努力しています。

めざす児童像

進んで学ぶ子
思いやりのある子
明るくたくましい子

○児童像が校歌に!!

校歌の作詞は、村田さち子先生、作曲は、池辺晋一郎先生にお願いしました。果てしない 大地から湧きあがる 歌声

ここは南小 みんなの宇宙

とりズミカルな歌声で始まる校歌には、「こんな南小の子どもになつてね」という希望が込められています。

校歌披露式では、池辺先生の指揮で子どもたちは待ちに待った校歌ができた喜びを、体いっばいに表しながら歌いました。

これからも、山方南小の校歌を、大切に歌い続けていってくれることでしょう。

○新しい伝統を築く

「思い出作りをしよう」というテーマで総合学習の時間に考えました。学級で話し合い、「ドリームハウス」を制作。



保護者の大工さんの指導やゲストティーチャーのお手伝いで完成させました。第2回の卒業生は、校名変更から、学名校名の表示板を制作し、駐

車場入り口に立てました。

第3回の卒業生は、校内持久走大会や県主催のスポーツランキングの馬拉ソンに意欲的に取り組んだことから、自分たちが一番輝いていた走る姿を体育館北側壁面にペンキで描きました(写真)。

今年度の6年生は、一人一人どんなことを考えるでしょうか。これも山方南小学校の楽しみの一つです。

○開かれた学校をめざして

①保護者・地域の方とのふれあいを通して 毎年秋に「山方南ふれあいの集い」を実施しています。

子どもたちが、保護者だけでなく、地域のお年寄りとのふれあいを通して、地域の一員としての自覚を深め、お年寄りに対して思いやりの心をもつて接する好機となっています。

内容は、子どもたちが縦割り班ごとに育てたさつま芋を校庭で保護者の協力を得ながら釜で煮、みんなでお昼に会食します。

また、お年寄りにお手玉教室や竹とんぼ教室などの先生を引き受けていただき、子どもたち遊びの楽しさを教えて



いただいています(写真)。

また、1、2年生の生活科では、伝統行事である「鳥追いまつり」を、毎年お年寄りに手伝っていただき実施しています。子どもたちは、餅をついて一緒に食べるのを楽しみにしています。

②ボランティアの協力



毎週月曜と木曜の朝、「読書の時間」があります。地元の読み聞かせの団体「どんどんち」と「おひさまの会」の方が計画的に、学年に応じたお話を読

んでくださっています。

エプロンシアターやペープサートなど子どもたちが興味・関心をもてるように工夫し、時間をかけて準備してくれているので、子どもたちが聞き入っています。年に一度は2つのグループを招いて読書集会を行います。

また、今年度は県の「みんなにすめたい1冊の本」推進事業を拡大し、1年生から3年生も読書50冊に挑戦しています。読み聞かせのお陰で本が好きになってきた子どもたちが増えていきます。